

平成25年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

環境省25-⑩

施策名	目標4-3 一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
施策の概要	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等を推進する。					
達成すべき目標	一般廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理等について施策の総合的かつ計画的な推進を図る					
施策の予算額・執行額等	区分	23年度	24年度	25年度	26年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	44,490	41,565	37,694	45,184
		補正予算(b)	17,106	17,879	62,772	0
		繰越し等(c)	1,196	290,782	58,202	
		合計(a+b+c)	62,792	350,226	158,668	
執行額(百万円)	54,242	333,108	127,308			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)						

測定指標	一般廃棄物の排出量(百万トン)	基準値	実績値					目標値	達成
		H12年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H32年度	△
		55	46	45	45	45	調査中	41	
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-		
	一般廃棄物のリサイクル率(%)	基準	実績値					目標値	達成
		H24年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H29年度	×
		20	20	21	20	20	調査中	26	
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-		
	一般廃棄物の最終処分量(百万トン)	基準	実績値					目標	達成
		H9年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	○
		6.4	5.5	4.8	4.8	4.6	調査中	5.0	
	年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-		
一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量(g-TEQ/年)	基準	実績値					目標	達成	
	H15年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	当面の間	○	
	71	36	33	32	32	調査中	33		
年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-			

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ③(相当程度進展あり) (判断根拠) ○現時点において、一般廃棄物の最終処分量及び一般廃棄物焼却炉からのダイオキシン類の排出量は、すでに目標値を達成している。 ○一般廃棄物の排出量及びリサイクル率については、目標値に到達しておらず、ここ数年間横ばい状態が続いている。
	施策の分析	○環境省として一般廃棄物の3Rを推進するため、3つのガイドライン(①一般廃棄物会計基準②一般廃棄物処理有料化の手引き③市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針)を市町村に示しているが、一層の取組が必要である。
	次期目標等への反映の方向性	【施策】 ○一般廃棄物の3Rを総合的に推進することが重要であるとの認識に立ち、循環型社会形成推進交付金制度による廃棄物処理施設の整備を推進する。 ○3つのガイドライン(①一般廃棄物会計基準②一般廃棄物処理有料化の手引き③市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針)等をさらに市町村が進めるため、市町村への3Rの取組支援を行う。 ○さらに、災害時も含め市町村が適正に廃棄物を処理できるよう施策を推進する。 【測定指標】 上記により、測定指標に掲げた目標値を達成できるよう施策を推進する。 また、一般廃棄物のリサイクル率については、各種リサイクル法による施策の効果を考慮して、廃棄物処理施設整備計画の次期見直し時に、より実態に即した目標の設定を行うこととする。

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	日本の廃棄物処理(平成24年度版)
---------------------------	-------------------

担当部局名	大臣官房廃棄物・リサイクル部廃棄物対策課	作成責任者名	廃棄物対策課長	政策評価実施時期	平成26年6月
		(※記入は任意)			